

日本社会福祉系学会連合における東日本大震災対応委員会の活動報告

日本社会福祉系学会連合 事務局長 和気 純子（首都大学東京）

社会福祉学系の20の学会より構成される日本社会福祉系学会連合では、2011年3月に発生した東日本大震災に対応して、連合内に東日本大震災対応委員会を設置し、おおよそ3か年を目途に以下の事業に取り組んでいる。

<事業方針>

- ① 加盟学会が実施あるいは実施予定の震災対応研究／活動に関する情報を収集・提供し、被災地への負担等を考慮しながらそれらの研究／活動を支援する。
- ② 被災地担当委員を中心に関連自治体や関係者からの情報収集に努め、社会福祉系学会および社会福祉系学会連合として取り組むべき研究／支援課題の調査、検討を行う。
- ③ 被災地等において適宜、学術集会を開催し、情報収集および研究状況の経過報告を行い、加盟学会・会員および被災地関係者との情報共有および研究／支援課題の明確化を図る。
- ④ 上記の活動成果を報告書にとりまとめ、加盟学会および会員に配信することにより、さらなる社会福祉系学会における災害福祉関連研究の活性化、効率化を図る。

上記の方針に基づき、2012年度に実施された事業は以下のとおりである。

1. シンポジウムの開催

1) 第1回シンポジウム

日時：2012年5月27日（日） 17時15分～18時15分

会場：東洋大学白山キャンパス 1012番教室

研究報告 「日本社会福祉系学会連合 東日本大震災対応委員会 調査研究事業報告」
都築 光一（岩手県立大学）

2) 第2回シンポジウム

日時：2012年7月29日（日） 13時～16時

テーマ：被災地における福祉支援の今 そして未来へ

会場：盛岡地域交流センター・マリオス

基調講演「東日本大震災における福祉支援と地域福祉の課題」

和気 康太（明治学院大学）

シンポジウム 「仮設住宅における生活ニーズへの対応と今後の課題」

コーディネーター：菱沼 幹男（日本社会事業大学）

シンポジスト：柏崎きよ子（大船渡市社協 主任生活支援相談員）

シンポジスト：菊池 亮（釜石市社協 地域福祉係長）

シンポジスト：石橋 祥子（大船渡市民生委員協議会）

コメンテーター：都築 光一（岩手県立大学）

3) 第3回シンポジウム

日時：2012年12月22日 13時30分～16時30分

会場：東北福祉大学ステーションキャンパス 3階研修室

研究報告 「東アジアの災害時における障害児者・要介護高齢者に対するソーシャルワーク実践プログラムの開発とマニュアル作成・普及」（みずほ福祉助成財団 助成研究）

野口 定久 (日本社会福祉系学会連合会長 日本福祉大学)
シンポジウム 「被災地における専門職連携」
コーディネーター：阿部 正孝 (東北福祉大学)
シンポジスト：松崎 暁世 (福島県社会福祉士会県北方部長
／介護老人保健施設はなひらの相談室長)
シンポジスト：高橋 了 (石巻市渡波地域包括支援センター所長)
シンポジスト：鈴木 俊彦 (宮城県ケアマネージャー協会登米支部長
／宮城登米介護サービス所属)
コメンテーター：都築 光一 (岩手県立大学)
コメンテーター：加山 弾 (東洋大学)

2. 調査研究事業

外部団体の助成金を活用して、東日本大震災に関わる社会福祉学研究の実施および情報収集・提供を図った。研究成果はそれぞれ報告書にとりまとめた。

- 1) みずほ福祉助成財団による助成研究の実施と完了
研究期間 (2011年10月～2012年10月)
- 2) 損保ジャパン記念財団福祉諸科学助成金による助成研究の実施
研究期間 (2012年8月～2013年7月)

3. 加盟学会への震災対応に関するアンケート

加盟学会の震災対応について情報共有するため、2012年度中の取り組みと2013年度の取り組み予定について質問紙調査を実施した。結果については学会連合総会で報告するとともに、HPに掲載する。

2013年度の事業予定：災害福祉アーカイブの構築にご協力を！

3か年におよぶ一連の震災対応事業の成果を総括するとともに、加盟学会・会員に広く情報提供を呼びかけ、学会連合HP内に災害福祉アーカイブの構築を図る。震災関連研究の単行本、論文、報告書などの著者・編者名、タイトル、出版社、出版年、支援活動、実践活動を行う団体名・実践活動名、サイト名、サイトアドレスを、学会連合のメールアドレス (union_jssw@gakkai.ne.jp) にお送り下さい！集約した情報は、学会連合HPから閲覧できます。